



現場から（最近のニュースから）

幸せとは



国連などによる「世界幸福度報告書」2025 年版が 3 月に発表されました。フィンランドが 8 年連続で 1 位となり、デンマーク、アイスランド、スウェーデンが続き、上位は北欧諸国が占めたそうです。専門家はフィンランドが選ばれた理由として、自然に容易にアクセスできることや、手厚い福祉制度をあげています。しかし、ほんとうにフィンランドの人が幸せなのかと検証する記事もあり、フィンランドの自殺率が日本の自殺率とあまり変わらないことを指摘して、フィンランドのすべての人が幸福なのではないと言っています。たとえ、社会が豊かで平均的に満ち足りていたとしても、少数ながら“幸福”から取り残された人の苦しみは見えにくく、相対的な孤独感が深まる現象が起こるからだということです。（1 月 14 日 Books Channel より）

このように幸福（幸せ）について調べたり論じたり、追及されているのに、なぜか人は幸せになれないと、理学博士小林武彦氏の新刊『なぜヒトだけが幸せになれないのか』では、生物学から「ヒトが生きる意味」から幸せを語っていると紹介している記事がありました。その本では、人が生きているのは生物学的に「生存本能」があり「生殖」に成功したからですが、それは「なぜ私たちが現在ここで生きているのか」という問いの客観的な説明としては正しくても、人はそれだけの理由で生きているわけではないと言われているそうです。実際に生きるためにはなんらかの主体的な理由、言ってみれば「生きるためのモチベーション（動機）」が必要だということです。そのモチベーションとして、賢い人が「幸せ」という魔法の言葉を作り出したと言われます。お金持ちになるためでも子孫を残すためでもなく、幸せになることが、生きるモチベーションとなるということです。この言葉は、多様な価値観や事柄に使える「都合がいい言葉」だと言われます。人々は、何かの成功、好きな人といっしょにいること、日々の平凡な生活などなど、なんでも「幸せ」だと言うのですが、実際には「これって本当の幸せ？」みたいなもやっとした気持ちになることがあるのではないかと思います。（4 月 21 日現代ビジネス＜現代の「ヒトの幸せ」を妨げている「意外な原因」をご存じですか…他の生物と比べて、なぜヒトだけが幸せになれないのか？＞より）

幸福度世界一だと言われても自殺率は高かったり、生きるモチベーションとして幸せを追求しても、「これって本当の幸せ？」となることは私たちにも当てはまるでしょう。社会的に豊かだと思える状態になっても、心は豊かに満たされなかったり、自分が求めていたことを手に入れたあと、急にむなしさを感じたりすることはないでしょうか。それは、すべての人には根本的に解決しなければならない問題があり、その問題を解決することができずにいるからです。その問題を解決するとき、幸せを手に入れようと追及する必要がなくなり、幸せになることを生きるモチベーションにする必要もなくなります。すべての人にある問題は何で、その解決は何でしょうか。それについていっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」